

R6 進路だより

Vol. 4

進路指導の実際～小学部～

進路指導は、子どもが自分の将来へ展望をもつこと、卒業後の生活によりよく適応すること、社会的・職業的自己実現を達成するために必要な自己指導能力の伸長をすることを旨とするために学校で行っている指導を指します（文科省：進路指導の手引き）。本校は、児童生徒の夢や願いを中心に据えた「私の応援計画」に基づき、ニーズに応じた学習活動の設定や支援を行っています。大人になったとき、もしくは近い未来でのイメージをもち、どのような生活をしてきたいかを一緒に考え、必要なことに学校と家庭で連携して取り組んでいきたいと考えます。

小学部における進路指導は、身の回りのことを自分で行うことや、自分から誰にでも挨拶することなど生活面やコミュニケーションにおけるスキルだけではなく、やってみようとする態度や意欲を育むことを大切にしています。小さなことでも、自分でまたは誰かと一緒に挑戦したり、失敗を成功体験に変えたりすることで、「やった!」「できた」という達成感が培われていきます。体験していく中で、「ありがとう」と感謝を受けることも増えていきます。学校生活の入り口にあたるふたば学級では、「ありがとうの木」という取組も行っています。自分の身の回りのことからスタートし、徐々に「誰かのために」なる役割へと変化していきます。長い夏休み、ぜひ御家庭でも、「誰かのために」ということで、お手伝いから役割へと変化するチャレンジをお願いします。

清掃活動



学級の配付物の受け取り



朝の運動の準備



自分の活動に夢中



ふたば「ありがとうの木」



「自分のために」「みんなのために」



一人一人の役割



保護者からのQ & A

保護者からのQ & Aのコーナーでは、「進路のイメージがわからない」「〇〇の制度について教えてほしい」など、保護者の皆様からの御質問にお答えします。右のQRコードから、気軽に御質問ください。

